

地域貿易協定の市場規模と直接投資創出効果 ； 製造業直接投資データによる実証分析

岡部 美砂* 杉本 喜美子**

【要旨】

本稿は、近年活発になった地域貿易協定（RTA）の動きが、海外直接投資（FDI）の意思決定に与える影響について、日本の国別・業種別 FDI データを用いて検証するものである。RTA が FDI に影響を及ぼす経路には、RTA で関税撤廃と合わせて施行される非関税障壁の撤廃等を通じた直接的な効果と、貿易促進や経済成長など多様な経路を通じた間接的效果が存在する。本稿では特に、間接的效果のうち、RTA による市場規模の拡大が FDI 創出効果をもつかどうか注目した分析を行う。1989 年から 2004 年までの日本の製造業の対世界直接投資データを用いて分析した結果、RTA は市場規模拡大を通じて域外からの FDI を促進する効果が、産業合計、製造業合計、業種別の全てのケースで見出された。さらに、対アメリカおよび対中国の現地企業活動のタイプ別の分析を追加的に行い、地域貿易協定による市場規模拡大は、現地での販売を主な目的とする水平型直接投資活動をより促進する効果があることを示唆する結果を得た。これら日本の FDI について検証した結果より、RTA は加盟国拡大などによる市場規模拡大をはかることで、域外からの FDI を創出する効果が得られるということが分かった。

JEL classification; F15, F21, F23.

Key Words; 海外直接投資（FDI）、地域貿易協定（RTA）

* 京都学園大学経済学部（E-mail: okabe@kyotogakuen.ac.jp）

** 大阪学院大学経済学部（E-mail: kimiko.s@utc.osaka-gu.ac.jp）